

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：ポポラー横浜和田町園	種別：認可保育所	
代表者氏名：豊川 まなみ	定員（利用人数）： 60名	
所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町845-15 シティテラス横濱和田町エアーズコート1階		
TEL：045-340-4030	ホームページ：https://rabi-popo.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2016年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社タスク・フォースミテラ		
職員数	常勤職員： 9名 非常勤職員：5名	
専門職員	保育士：11名	
施設・設備 の概要	保育室：4室	調理室：1室
	事務室：1室	トイレ：2か所
	園庭：あり	

③ 理念・基本方針

保育理念：色々な事に興味を持ち、自発的に取り組めるような積極的な子。自然に親しみ、自然と命を大事にする子。自立に向け努力と忍耐力を持って何事にも頑張る子の育成を目指し、個々の未来の可能性を実現出来るような体力と基礎的能力を培います。

基本方針：縦割り保育を採用し、幅広い年齢のお友達と一緒に楽しくシステムで感受性・想像性・思いやりを伸ばします。

年齢の違ういろいろなお友達とふれずことこそが、子ども達の人間性の基礎を作る事に繋がると大事にしています。

子ども達の「生きる力」や「がんばる力」をはぐくむ人間教育という視点を持ち、日々子ども達と関わっています。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

2～5歳児の縦割り保育の実施。生活を共にすることで、お友達に対しての思いやりの心や、自らやってみようとする自立の気持ちを育てていきたいと考えている。近隣に公園が多く、日々の戸外活動では公園までしっかりと歩き身体をたくさん動かすことを大事としている。園の前に小学校が有、交流が行われることもある。何かあった際にはすぐに避難も出来るので、立地的にも安心して通って頂くことが出来る。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年10月1日（契約日） ～ 令和6年2月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点

1. 縦割り保育を実施することで幅広い年齢層との交流ができています  
園では2～5歳児の縦割り保育を行っています。縦割り保育では、年長児は年少児へ

の思いやりの心が育ち、年少児は年長児への憧れが生まれています。5歳児では、当番活動を取り入れ、保育士の手伝いや年少児のお世話を行っています。誰かのために役立つことで社会性を育むことができます。また、給食時には3、4、5歳児は4～5人のグループで一緒に食事をしています。3歳児はまだ野菜嫌いの子が多いですが、年長児が野菜を食べている様子を見て、真似をして少しずつ食べるようになっていきます。縦割り保育の中では、色々な年齢の子どもたちが協力して生活することにより、自然と人間性や社会性を身につけることができると考えています。

## 2. 園の特徴を明確に打ち出し、保護者から高い支持を得ています

保育園が乱立している中、園の特徴を明確に打ち出して他園との差別化を図っています。上述の縦割り保育をはじめ、代表的なイベントであるキャンプには在園児のみならず、卒園児も参加できます。関東エリアの園児が1か所に集まる大運動会には約2000人も参加があります。今回の利用者調査では回答した保護者のほぼ全員が「満足」以上と回答していることから、高い支持を得ていることがうかがえました。

## 3. 子どもの様子や表情を保護者に更に詳しく伝えたいと考えています

保育士は、保護者には毎日保育レポートアプリを通じて、子どもの様子を伝えていきます。また、降園時には口頭で丁寧に伝えるようにしています。その際には、玄関の掲示板に当日のカリキュラム内容を写真に撮り掲示することで、視覚的に分かりやすくしています。園としては、更に子どもが生き生きと活動している写真を掲示し、保護者との情報共有に役立てることも考えています。玄関には既にテレビモニターの設置状況を考慮し、それを活用することも視野に入れた取り組みに期待します。

## 4. 理念等の実現に向けた園の中長期計画を策定することが望まれます

ホームページに法人の理念や明確な他社との違いを掲載し、目指していることを広く発信しています。しかし、それをどのように実現していくかを示す園の中長期計画が策定されていませんでした。一方で保育園を取り巻く環境についての情報収集はよくできており、系列園の全保護者を対象としたアンケートの実施や、職員からは毎月個人報告書を提出してもらい意向を把握しています。また、全国で事業を展開していることから業界の情報も十分に把握できています。これらの情報から課題を抽出し、中長期計画を策定することが望まれます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度第三社評価を受審し、今後やらなければいけない事がとても明確になりました。事業計画の作成や実習生の受け入れ、地域交流など出来ていない所は素直に受け止め、早急に改善できるところから着手していきたいと思えます。子ども達の自立を大事にする保育理念が明確になっている事や、食事に関してなどポプラーの良い所というのも評価頂き、園の特色としてもっと強化をし打ちだしていきたいと考えております。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり